

2021年12月6日

ながおか・若者・しごと機構  
米百俵デジタルコンテスト事務局

## 米百俵デジタルコンテスト(米100DC)2021 1次審査結果発表

2次審査に進む作品を、下記の11作品に決定しました。審査員の全体講評と合わせて発表いたします。

※作品名は、今後作者が行う2次審査に向けてのブラッシュアップ作業の結果、変更される可能性があります。

作品番号	ジャンル	作品名	作者名・所属
100019	スマホ・タブレットなどで動作するアプリ	GoodStyle	羽根田 隼(トライデントコンピュータ専門学校), 萩原 樹(同), 井谷 蓮太(同)
100038	スマホ・タブレットなどで動作するアプリ	オミかじ	佐藤 峻哉(トライデントコンピュータ専門学校), 児玉 龍哉(同), 鈴木 文也(同)
100057	スマホ・タブレットなどで動作するアプリ	TRY!!	吉野 ひな(鎌倉女学院高等学校), 田中 寿果(同)
100062	スマホ・タブレットなどで動作するアプリ	かんかん図漢	奥村 雅子(女子美術大学), ウヨウ(同)
100063	スマホ・タブレットなどで動作するアプリ	みんなで物語	木村 颯汰(千葉工業大学大学院)
300007	IoTデバイス	Ohanashi	栗川 詩加(崇城大学), 岩永 菖(同), 木村 真琴(同)
300008	IoTデバイス	ポケットあにまる	畠 菜摘(武庫川女子大学), 山中 桜(同)
300009	IoTデバイス	はかーる君	中倉 拓哉(長岡工業高等専門学校), 清水 日菜子(同), 藤本 清太郎(同)
300015	IoTデバイス	水やりゾウさん	森下 大幹(専修学校クラーク高等学院天王寺校), 井阪 健汰(同)
300016	IoTデバイス	けずログ	友田 七海(東京理科大学)
300017	IoTデバイス	Aquarium Box	江崎 亜美(一般社団法人 HOPTER TECH SCHOOL), 中島 暢慎(同), 深尾 真矢(同)

全体講評(敬称略・順不同)

審査員 佐藤 ねじ アートディレクター／プランナー

どこか一部分で突き抜けているアイデアに魅力を感じた。サービスとしての必要性は大事だが、作者の作りたいという気持ち・エネルギーも重視したい。すでに世の中には、山ほどの実現しなかったアイデアが存在している。けれども、小利口になりすぎず失敗を恐れず、アイデアをどんどん形にしていくことが重要だと思う。形にしてからわかることが、本当に多いので。また、ニッチでもいいから、自分の立場だからこそ発見できる課題やアイデアを大切にしてほしい。その人ならではの作品は、とても魅力的です。

審査員 矢野 昌平 長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科 研究推進 教授

どの作品からも、ものを作りたいという気持ちを感じられて、面白かった。何を作るかを考える際に、自分の周りの課題解決だけでなく、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、友達、仕事、他の業種の人など、周りの人が困っていることから課題を探すことにも挑戦してほしい。自分の持っている技術で、周りの人の課題が解決できるかもしれない。

審査員 平野 未来 株式会社シナモン 代表取締役社長CEO

尖っていて面白い作品が多いと感じた。どの作品も荒削りだが、荒削りながらも、その姿勢を大事にしてほしい。自分自身を振り返っても、プログラミングを覚えたばかりの10代の頃には、荒削りなものを作ってはリリースしていたことを思い出した。成功するサービスを作り出せる確率は低く、難しいが、ものを作りたいという気持ちを大事にしてほしい。まずはすごく少ないユーザを対象で良いので、愛されるサービスを作ることを心がけてほしい。たくさん挑戦する中で見えてくる世界が必ずあるので、失敗をおそれずに前に進んでほしいと感じた。

以上.